



株式会社 三和総合研究所

原田 格*

1. 会社概要

名称 株式会社 三和総合研究所
 設立 昭和60年10月22日
 資本金 4億円(授權資本16億円)
 従業員数 123名(内研究職79名)
 代表者 取締役社長 松本 和男
 年間売上 17億円(昭和63年3月期)
 株主 株式会社 三和銀行他7社
 事業内容

- ①調査研究業務
 - ②コンサルティング業務
 - ③講演会・セミナー・企業内研修事業
 - ④会員制事業
- (尚、事業内容の詳細については後述)

所在地

東京本社 東京都港区新橋1-11-7
 大阪本社 大阪市北区曾根崎新地2-2-16

2. 会社の沿革

1) 当社は、銀行系(三和銀行)では初の総合シンクタンクとして設立されました。設立当初は、三和銀行の経営相談所と貿易投資相談所を中心に独立しましたが、昭和61年4月に同行の調査部門が加わり、本格的な総合シンクタンクとしての陣容が整いました。

現在当社の組織は、調査本部、研究開発本部、経営戦略研究本部、コンサルティング本部、SANMIC本部、総合企画部、京都事務所と海外拠点により構成されています。

2) そして、この構成の下に、内外から一流のシンクタンクとして高い評価を得るべく、日夜努力を重ねて現在に至っています。

■三和総合研究所組織図



3. 事業内容

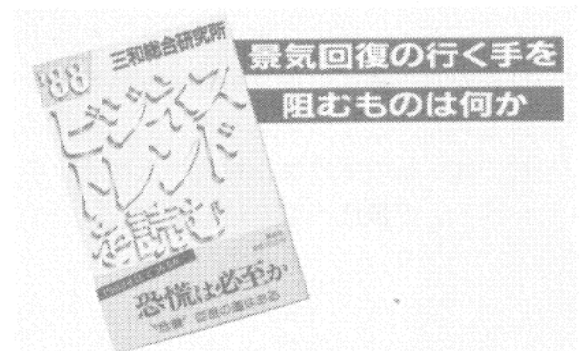
当社の事業内容について、その概略と担当セクションは次のとおりです。

1) 調査研究業務

この業務はまさに総合シンクタンクのベースにあたるもので、3つの分野に大別されます。

①マクロ経済調査業務

自主研究を主体に、内外経済・社会・金融の動きを把握・分析し、将来予測など、その成果を適宜発表しています。また、研究成果の出版も行なっております。(『ビジネススト



*原田 格 (Itaru HARADA), 株式会社三和総合研究所, 研究開発部, 主任研究員

主要実績（昭和61～62年）

①マクロ経済研究

- 空洞化する米国経済
- 多角的な対策を要する雇用問題
- 構造調整下の財政政策
- ストックインフレの家計への影響
- 米国におけるM & Aの進展と我が国企業

②産業調査・市場調査

- アジアNICsにおける民生用電子機器産業の動向
- 1990年におけるワークステーションの需要動向
- コンベンション市場の実態調査
- アクアパークの事業化調査

3 企業経営

- A社中期経営計画の策定
- B社資金調達方法の診断及び消去法の導入
- C社台湾進出に関するフィービリティ調査
- D社買収価格算定調査
- 大企業の多角化戦略動向調査

4 地域開発

- E地区リゾート構想調査
- F市産業振興ビジョン策定調査
- 国際文化施設地区整備調査
- G市土地利用計画の策定

5 社会・文化

- 5年後の消費者像
- 働く主婦の増加とそのインパクト

レンドを読む』’87および’88年版等)。この分野は主に調査本部が担当しています。

②受託調査研究業務

海外、国内の企業や公共団体、各種団体から委託を受け調査研究する分野です。研究テーマは産業調査・市場調査、企業経営、地域開発、社会・文化等多岐にわたります。上に最近の主な実績（完了分）を掲げます。

この分野は主に研究開発本部が担当しています。

③将来技術研究会

これは、京都大学の吉沢名誉教授を会長として、将来技術に関する産・官・学の技術交流の場を提供し、先端技術の勉強会や技術開発に関する共同研究の推進などの活動をしている研究会の運営の事務局を京都事務所が担当しています。

2) コンサルティング業務

三和銀行の事業調査部門、海外部門の実績、ノウハウや、経営相談所からの専門知識をもとに、組織、財務、労務、海外進出のコンサルティングをはじめ、企業の経営戦略策定まで幅広い業務を行ないます。

具体的には、

- ①経営戦略、中期計画、市場調査
- ②組織、人材開発、財務・事務システム
- ③海外進出

等について、コンサルティング業務を行なっています。

①は経営戦略研究本部が、②および③はコンサルティング本部が主に担当しています。

3) 講演会・セミナー・企業内研修の実施

研修の内容は以下のようなものです。

この業務は、コンサルティング本部が担当しています。

階層別研修

- 管理者研修
- 中堅社員研修
- 一般社員研修
- 女子社員研修
- 新入社員研修

部門別研修

- セールスマネージャー研修
- セールスマン研修
- 考課者研修
- 貿易実務者研修

4) 会員制事業

当社は会員制事業としてサンワ経営情報交流会（略称サンミック、SANMIC）を組織しています。

当社が収集し分析した経営情報を、多様な伝達手段により迅速に会員にお伝えするとともに、会員相互の情報交換や取引の斡旋、業務提携の仲介等もしています。

具体的には、講演会、経営者交流会、月刊誌の発行、ファクシミリサービス、経営情報

の仲介・斡旋等の業務を行なっています。この事業は、SANMIC本部が担当しています。

4. 会社の特色

前にも述べましたように、当社は三和銀行を母体とする総合シンクタンクとして発足しました。従って、当社は金融機関の持つ多種多様な情報ネットワークを活用することができ、他のシンクタンクより以上に新鮮で豊富な情報をもとに、前記のいろいろな情報関連事業を推進していける立場にあります。また、研究員は三和銀行の調査部門、国際部門、システム部門等で豊かな専門知識と経験を培ってきており、これも当社の大きな強みとなっています。

5. おわりに

以上述べてまいりましたような組織・特色をバックに、調査研究業務、会員制事業などを中心にして当社はすでに先発の大手シンクタンクに伍して多くの実績をあげてきています。

当社は、人々の日常の生活から国際関係に至るあらゆるステージで、世界の頭脳集団として機能することを自らの使命と考えております。今後ともこの使命を果たすべく、当社は情報諸事業に邁進していく所存です。

